

内容別・観点別の分析 (様式2)

	内容別結果分析	観点別結果の分析	内容・観点のクロス分析
1年	<ul style="list-style-type: none"> 授業全体では意欲的に取り組む様子が見られる。 	<ul style="list-style-type: none"> 技能に関しては基礎技能の定着を充実させる。 単元ごとの課題を具体的に示す。 	<ul style="list-style-type: none"> 基礎基本の定着させる。 思考、判断力の育成する。
2年	<ul style="list-style-type: none"> 器械運動は各自が能力に応じて積極的に取り組んでいた。 陸上では好記録もあり全体的に意欲が見られる。 	n	<ul style="list-style-type: none"> 基礎基本を応用させる。 知識の定着と理解力の育成する。
3年	<ul style="list-style-type: none"> 陸上競技の走り幅跳びでは意欲もあり記録の向上も見られた。 バスケットボールではグループ学習に積極的に取り組んでいた。教え合い、学び合う姿勢が少しずつ見られた。 	<ul style="list-style-type: none"> 各種運動の技能について基礎技能の定着がみられるが、個々の課題設定に課題がある、個人の課題を具体的に示す。 	<ul style="list-style-type: none"> 思考、判断力の育成する。

指導方法の課題分析と具体的な授業改善策及び補充学習等の計画 (様式3)

	指導方法の課題分析	具体的な授業改善策	補充的・発展的な指導計画
1年	<ul style="list-style-type: none"> 基本的な事項の習得、育成が必要である。 基礎的な体力（主に持久力、走力）を身に付けさせる必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 興味、関心をもてるようにできることから、難しいことへの段階的に指導する。 体力を含め、個人目標を設定する。 	<ul style="list-style-type: none"> 相互練習などを組み入れ、個人技能、体力の充実を図る。
2年	<ul style="list-style-type: none"> 個人の課題分析力と設定能力を伸ばす。 知識、理解力の定着に課題がある。 	<ul style="list-style-type: none"> プリント、副教材などを通じて、理解力や知識を育成する。 	<ul style="list-style-type: none"> 個人に対して課題を与えながら、主体的に学習できるようにする。
3年	<ul style="list-style-type: none"> 運動が苦手だったり、嫌いだったりする生徒に対する細やかな指導が必要である。 	<ul style="list-style-type: none"> 実技指導において、細かくアドバイスをしていく。 知識理解を深めるために、プリントや副教材を活用する。 	<ul style="list-style-type: none"> 各自が課題をもち、教え合い、学び合う中で、課題が克服できるようにする。